

東京代表4回目の出場です。この大会に出場出来ることに感謝し、優勝目指して全力で頑張ります。

東糀谷イーグルス

- | | | | |
|-------|-----|-------|------|
| 鈴木常夫 | 代表 | 畑中光一 | コーチ |
| 高木航 | 監督 | 永澤大典 | コーチ |
| 土田雅之 | コーチ | 石田優子 | スラッパ |
| 石田諒人 | 3 | 小松利樹 | 3 |
| 井上琉葵 | 3 | 山本琥太郎 | 2 |
| 三尾勇人 | 3 | 幸田卓未 | 2 |
| 土田海翔 | 3 | 芳賀陸 | 2 |
| 山崎源信 | 3 | 大塚海翔 | 2 |
| 松本旭陽 | 3 | 江口心 | 2 |
| 木村幸士郎 | 3 | 永井龍星 | 2 |
| 谷口凪 | 3 | 野部凌雅 | 2 |
| 佐藤隼人 | 3 | | |

関東中学生軟式野球クラブリーグの東京代表の東糀谷イーグルスです。今年創部50周年を迎えています。記念周年にすばらしい大会に出場出来る事を光栄に思い大変喜んでいきます。選手、スタッフ一丸となり初戦に全力投球をします。グラウンドに爽やかな「緑の風」を起します。

ニッポン
びわこカッツ
頂点を目指して



▲力強い打撃をする地元守山少年野球クラブと特別協力校
▲昨年優勝チームの古賀ベースボールクラブ。江島選手が優勝旗を返す
▲総勢300人を超える選手とスタッフからなる大会実行委員会。選手とスタッフの両方からなる大会実行委員会

特別号
日刊スポーツ
NIKKAN SPORTS
発行責任者 日刊スポーツ新聞社 編集協力 株式会社FAIRPLAY
Copyright © 2019 Nikkan Sports. All rights reserved.



第9回全日本少年軟式野球クラブチーム選抜大会

(主催) 軟式野球ジュニアリーグ (NBJ) (後援) 近賀県、近賀県教育委員会、近賀市、近賀県軟式野球連盟、日刊スポーツ新聞社(特別協賛) 新タカサ (協力) ダイワ精工株式会社、近賀県警察本部

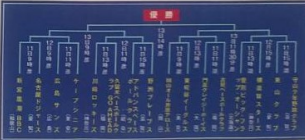
熱戦開幕

第9回全日本少年軟式野球クラブチーム選抜大会(びわこカッツ)が10日、近賀県立彦根球場で開催した。北海道から九州まで各地区代表16チームが総勢に選手が入場。各チームともに掛け声を出しながら力強く行進した。選手入場が終わったあと、大会

・彦根市長の祝電も「全国からの代表16チームをお迎えし、盛大に大会が開催されることをお祝いし、彦根市民が代表して心を動かします」と披露された。選手宣誓には新近賀県ベースボールクラブの清水選手(彦根市)が堂々とあがった。「全国大会に出場できるよと喜びを胸に今ここに立っています。厳しく、温かく、本気で向き合ってくれた監督、コーチの方々に、チームワークの大切さ、秘事もあきらめず

んばることの大切さを教えていただきました。隣近で僕たちを支えてくれた家族にも感謝の気持ちを忘れません。仲間とともに多くの人々に愛と感動を伝えられる本気で粘り強いプレーをすることを誓います。選手宣誓という大役は「審判員の前に行われたらいい。これまでの甲子園の選手宣誓を参考に、練習を繰り返した」城まき子(スラッパ)と書いた。最高の出来。100点ですとホッとした表情で取り

返った。今大会では昨年に続きスタンド入り口にミストを設置。10日の彦根市内の気温は14度で34度。スタンドの観客も打ち込まれるからわざわざ観客を和ませる様子も見られた。試合は11日からの彦根球場と東近賀市の近賀スタジアムで開催され、前日に進めば10日に彦根球場で決勝戦が行われる。「クラブチームは日本の第一を決める全国大会の頂点に立つのはどのチームか、熱い戦いになると思う」。



<主な大会概要>
●試合は7日または9日0時から新しいイニングに入らない準決勝と決勝は10時から10分で新しいイニングに入る。
●規定時間及び回数までに決着がつかない場合は、延長2イニングの特別延長ルールも適用する。準決勝と決勝は延長3イニング。それでも決着しない場合は引き分けとする。
●特別延長ルールは無死走者一、二塁、打者は前回のからの継続。走者はその打者から次の打者へ打順からそれぞれ一塁、二塁。
●試合終了後、優勝以上であればコールドゲーム。決勝は必ず。
●準決勝は11日1イニングまで、3分の1回1アウト未満でもイニングが終了したものとす。